

令和4年度 事業報告書



社会福祉法人 福愛会

Care House KAMIGAWARA

ケアハウス上河原

＜令和４年度の主な事業報告＞

社会福祉事業

“選ばれる住まい”として、家庭的な清潔な空間の中で、一人ひとりが“自分らしく安心して暮らせる住まい”となるように生活環境の整備に努めました。また、利用者様本位のケアサービスに努めるとともに、人間性を尊重し自尊心や夢を損なわないように配慮しました。職員間で相談し、実施方法を工夫しながら季節の行事やクラブ活動、レクリエーション、体操などを行い、明るく楽しい１日を過ごしていただけるように、健康維持と予防、介護サービスの質の向上に努めました。

新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策に対しては、国・県等からの指導に基づき、ご利用者・職員それぞれが徹底した感染防止の取り組みを行いました。インフルエンザとノロウイルスの感染者はゼロ、新型コロナウイルスに２名の感染がありました。ご家族におかれましては、引き続き外出や面会の制限をさせていただくこととなり、ご不便・ご心配をおかけしましたが、３月中旬から会議室内での対面面会を開始しております。

＜行動指針＞

- ・笑顔のあいさつと心のこもった声かけをします。
- ・利用者様の気持ちに寄り添い、居心地の良い場所^{すまい}を提供します。
- ・報連相を密に行い、利用者様の変化に速やかに対応します。

☆公益的事業☆

＜介護相談事業＞

○地域の方の介護相談を受け、介護サービスの説明、介護事業所の紹介等を行いました。

＜福祉避難所＞

○津山市と福祉避難所の指定協定を締結しています。

☆ ケアハウス上河原 ☆

入居者の状況

市町村別入退居者一覧表（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

市 町 村 名	令和 4 . 3 . 3 1 入 居 者 数	令和 4 年 度 退 居 者 数	令和 4 年 度 入 居 者 数	令和 5 . 3 . 3 1 入 居 者 数
津 山 市	3 7	4	3	3 6
美 作 市	2	0	1	3
真 庭 市	1	0	1	2
勝 田 郡 勝 央 町	2	1	0	1
勝 田 郡 奈 義 町	1	0	0	1
久 米 郡 美 咲 町	1	1	1	1
久 米 郡 久 米 南 町	2	0	0	2
苫 田 郡 鏡 野 町	2	0	0	2
大 阪 府 吹 田 市	1	0	0	1
大 阪 府 大 阪 市	1	0	0	1
合 計	5 0	6	6	5 0

入居者年齢別構成表（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合 計
男				1	2		4	1	8
女		1		1	5	1 1	1 6	8	4 2
計		1		2	7	1 1	2 0	9	5 0

入居者平均年齢

男性 88.50 歳

女性 89.76 歳

全体 89.56 歳

最年長者

男性 9 5 歳

女性 1 0 3 歳

全体 1 0 3 歳

最年少者

男性 7 7 歳

女性 6 5 歳

全体 6 5 歳

☆ 特定施設入居者生活介護サービス ☆

< 利用者の状況 >

「要介護度状態区分」による利用者数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	男	性	女	性	合	計
非 該 当	0		0		0	
要 支 援 1	0		1		1	
要 支 援 2	0		0		0	
要 介 護 1	0		9		9	
要 介 護 2	3		7		10	
要 介 護 3	2		4		6	
要 介 護 4	2		8		10	
要 介 護 5	1		12		13	
未 定	0		0		0	
合 計	8		41		49	

< 行事等の状況 >

年間行事

月 日	行 事 名	月 日	行 事 名
4 月 3 日	お花見会	1 月 1 4 日	とんど
5 月 5 日	端午の節句	1 月 1 5 日	とんど（地域）
7 月 7 日	七夕会	2 月 3 日	豆まき
9 月 2 2 日	敬老祝賀会	中 止	節分祭（地域）
1 1 月 3 日	秋祭り（地域）	3 月 2 日	ひな祭り会
1 2 月 2 2 日	クリスマス会	毎月第 3 日曜日	誕生日会
1 月 1 日	正月	入居者誕生日	バースデーセレモニー

クラブ活動等（令和 5 年 3 月 31 日現在）

カラオケ クラブ	第 1・第 3 木曜日	隔週で実施（午後）
書 道 クラブ	第 2・第 4 木曜日	隔週で実施（午後）
ぬ り 絵 クラブ	不定期（月に 1・2 回）	実施（午後）
誕 生 日 会	第 3 日曜日	実施（午前）

< 介 護 部 門 >

「毎日を生き活きと、笑顔で過ごせる（自分で出来る喜び）」

- 入居者の‘文化的な生活’の確保と‘生活自立’を目標に、個々に対応した生活指導を行い『その人らしい“普通の生活”』を目指しました。
- 地域との協働に努めるとともに、入居者の‘心身の健康’と機能の維持・回復’及び‘危険防止’に努めました。
- 生活スペース(居室内)の整理整頓及び居室内の換気・通気に努め、入居者個々に合わせた生活環境(居室内)作りを行いました。
- 入居者の水分摂取目標 1 5 0 0 c c 及び嚥下性肺炎予防のため、食事前に口腔体操に取り組みました。

< 看 護 部 門 >

「健康維持と疾病予防で安定した毎日(健康管理と衛生管理)」

- 入居者個々の健康状態の把握し、疾病の予防に努めました。
- 入居者個々の主治医及び家族と連絡を取り、体調異常時の対応を行いました。
- 入居者の「健康管理」および「体調異常の対応等」を行うために、看護職と 2 4 時間連絡が取れる体制を確保し対応しました。
- 「感染症等」の予防に努めました。
 - ☆「新型コロナウイルスワクチン接種」「インフルエンザ予防接種」及び「肺炎球菌予防接種」を勧めました。
 - ☆新型コロナウイルス感染症対策のため、職員に感染対策を徹底しました。また、ご家族との面会は電話を使った‘窓越し面会’とし、受診以外の外出を禁止するなど、利用者が外部と接触する機会を可能な限り回避してきました。さらに、感染者が発生した場合に備えて、防護服やフェイスシールドなどの備蓄に加え、対応マニュアルを作成し職員間で具体的手順を確認しました。
 - ☆『加湿器』を常時使用して‘湿度の保持’に努めました。
 - ☆「新型コロナウイルス」については、利用者 2 名の陽性が確認されましたが、幸いにもクラスターにはならず済みました。「インフルエンザ」「ノロウイルス」の発生はありませんでした。

< 給 食 部 門 >

「生活に潤いをもたらす食事（入居者の嗜好に合った献立）」

- 栄養配分に留意し、利用者の食嗜好を考慮した上で、調理方法の工夫等により、食べやすくおいしい食事の提供を行いました。
- 毎食ごとに残菜調査を実施し、味付け及び調理方法の向上につなげ、温かい

ものは温かく、冷たいものは冷たく、美味しく感じられる温度での提供を心掛けました。また、陶器やガラスの食器を使用し、より美味しく感じられるように工夫しました。

- 入居者の食事形態・病態・体調の変化に対応した食事づくりを行いました。制限食の提供、アレルギー等の配慮・体調不良時の対応(食事形態の変更に随時対応)
- 必要に応じ、且つ個々の状態に合わせて自助食器、自助スプーン、すべり止めマット等を提供しました。
- 行事に添った食事作りを行い利用者に喜んでいただきました。主な行事食(雑煮、ぜんざい、ちらし寿司、赤飯、花見弁当、七夕そうめん、炊き込みご飯、年越しそば等)
- 職員全員が衛生管理の徹底に努め食中毒等を防止し安全な食事提供を行いました。(清掃等に注意をはらい、調理室の衛生管理及び職員の健康管理に努めました)
- 非常災害時に備え備蓄品の整備に努めました。

＜ 事故等の状況 ＞

利用者の事故の発生状況

ずり落ち	13件
尻もち	1件
転倒	40件
転落	2件
外傷	4件
内訳	3件
表皮剥離	1件
裂傷	1件
切創	1件
皮下出血	1件
誤薬	1件
不明	4件
合計	70件

＜ 事故事例 ＞

令和4年9月7日 7時30分頃 利用者94歳 要介護2 女性

- 7:30 朝食の声掛けに訪室すると、居室ベッド前で下半身何もはいておらず仰向け状態で横たわっているのを発見する。車イスはベッド前にあり、ブレーキがかかっていた。床には失禁したリハビリパンツ2枚とズボン、座布団などが散らばっており、床は尿でぬれていた。痛み外傷の有無を確認し、他職員とベッドに移乗させナースへ報告する。
- 7:45 ナースにて右脇、右腸骨、右下腕にうっすらと発赤があり、右下腿に3～4cm程の傷を確認する。家人に連絡し、整形受診を依頼する。
- 9:45 家人とともに津山内田整形を受診する。診断の結果骨折はなく、様子観察となる。

< 苦情等の状況 >

今年度、苦情等の申し出はありませんでした。

< 職員の状況 >

< 職員数 > 令和5年3月31日現在 32名

・施設長1名 ・生活相談員1名 ・計画作成担当者1名 ・事務担当者1名 ・介護職員15名 ・看護職員5名 ・機能訓練指導員1名 ・栄養士1名 ・調理員6名

< 職員の異動状況 >

退職者2名 栄養士兼調理員2名

採用者3名 栄養士兼調理員2名 調理員（パート）1名

< 研修 >

身体拘束適正化研修、虐待防止研修、感染症対策研修、人権啓発推進員研修等を受講、また、ケアハウス事例発表・意見交換会に参加し、職員の意識向上に努めました。